

「ドゥシャンベ市第2産科病院医療機材整備計画」引渡し式

8月4日、「草の根・人間の安全保障無償資金協力」によりドゥシャンベ市第2産科病院に整備された医療機材の引渡し式が行われました。引渡し式には、タジキスタンを訪問中の吉川ゆうみ外務大臣政務官、相木駐タジキスタン大使らが出席しました。

本計画で我が国政府が117,905米ドルを第2産科病院に供与し、新しい医療機材一式が整備されたことにより、より正確な健診が可能になるとともに、より安全な分娩処置が可能になりました。

吉川政務官は引渡し式の挨拶で、保健分野は日・タジキスタンの二国間協力において特に重要な分野の一つであり、この支援がタジキスタンの持続可能な発展につながり、日本とタジキスタンの友好が強化されることを願っていると述べました。これに対して、フセインゾダ ドゥシャンベ市第2産科病院長からは、日本政府及び日本国民からの支援に対して謝意が表明されました。

タジキスタンでは、1996年から今日まで、草の根・人間の安全保障無償資金協力として合計453件、総額約3,740万ドルに上るプロジェクトが実施されています。

